

## 平成30年度事業計画書

「地球環境の破壊を防ぎ、後世に明るい未来を伝え残す」

定款に掲げている私たちのミッションです。

平成15年に初めて定款にこの目的を記した時から15年、地球環境は変化を続けていますし、社会も人も変わってきています。地球デザインスクールの社会における立ち位置も当時とは随分と異なるものになっています。

15年前に掲げたミッションを私たちはどこに立って見て、どのような道筋で歩を進めていくのか、考え、悩み、迷い、時に投げ出したくなる気持ちになることがあるということも決して大げさな表現ではありません。

地球環境の破壊を防ぎ、後世に明るい未来を伝え残すというミッションは、目指すゴールというより、むしろその方向に向かって進んでいく、いわば「北極星」のような存在なのかもしれません。あるいは、暗闇の中で「何か」を探し求める中でこちらが照らすわずかな光に反応して光ってくれるものなのかもしれません。

解の有無さえわからない問題に向き合うのはとてつもないエネルギーを要します。ですが、地球デザインスクールは共に課題に向き合う仲間の集まりです。その仲間は地球デザインスクールの外にも志を同じくする多くの仲間をもっている人たちです。互いの存在と活動を支えに、大きな課題に対してこれからも共に試行錯誤し、彷徨い続けましょう。

後世に明るい未来を伝え残すために。

### 今年度の重点項目

#### (1) 環境教育プログラムの充実

創造的かつ体験的な活動を通じて、地球のデザインから学び、地球環境をデザインできる人を育むための環境教育プログラムの企画、運営を充実させる。「手づくり」を改めて見直すとともに、「丹後」に光をあてる。

#### (2) ネットワーキング事業の充実

NPO 会員メンバーのもつ知識、経験が地球デザインスクールの活動にいかされ、事業に厚みがでるよう、地球デザインスクール内部のネットワークを強化する。

外部とのネットワークも継続・強化するとともに、常に新たなつながりづくりも行う。丹後・丹波・但馬の施設との連携であるコネクト三 TAN 地球育環境ミュージアムの活動を拡充するほか、他分野の融合として「森の美術館」も継続実施する。

#### (3) 記録の充実

試行錯誤が繰り返しではなく、積み重ねになるよう、記録（ドキュメンテーション）の充実を図る。記録が記録にとどまらず、発信になり、共感を得て、試行錯誤を共に行う仲間をふやしていくことにもつなげる。

実施事業

(1) 地球環境と調和する社会や技術を調査・研究する事業

タイトル	内容	スケジュール	対象	予算 (千円)
モニタリング サイト 1000 里地調査	丹後海と星の見える丘公園内をフィールドに、植物相、水環境など5項目の継続的観察、データ収集を行う。	通年	高校生～	30
プロジェクト 2041	京都教育大学や宮津高等学校と連携し、知と体験を融合させる環境教育プログラムの開発を行う。	通年 秋に京都教育大学生 企画のイベント	高校生 大学生 教員など	20
森林整備	海と星の見える丘公園内の森林をフィールドに、計画的整備を行う。 林野庁の森林・山村多面的機能発揮 対策交付金を活用する。	通年		1300
稲作	波見地区の水田1枚を借り、無農薬での米づくりを参加型で行う。 文化や食の関心のみならず生物多 様性に目を向けるきっかけとする。	田植え 5月 稲刈り 9月 その間の時期に観察 会や管理、稲木立て 等を行う	幼児～ 大学生 親子	50

(2) 創造的かつ体験的な活動を通じて、地球環境をデザインできる人を育む事業

タイトル	内容	スケジュール	対象	予算 (千円)
京都自然塾	脚本家・倉本聰氏監修の富良野自然塾をモデルにした環境学習プログラム。森の教室、石の地球、地球の道からなる内容を、インストラクターが感動をもって伝える。 雨天時対応や出前授業など、コースを利用しないプログラムも可。	4月～11月 ビジットは冬も可	小学生以上	10
森の楽校	間伐やもやかき、下草刈りや笹刈りなど季節に応じた森づくり活動の一部を体験で行う。	3月～9月下草刈り 10月～12月間伐		10
森探検・ナイトウォーク	スタッフがガイドを行い散策する。実施の季節や対象によって時間や内容に変動がある。	4月～12月 3月	幼児～	10
海の楽校	磯観察や砂浜観察などを行う。 オプションで顕微鏡を用いたプランクトン観察なども行う。	4月～12月 3月	小学生～	5

宿泊体験プログラム	丹後の森、里、海での季節に応じた自然体験学習を、宿泊を伴う形で実施する	7月14日～16日 7月28日～8月3日 8月8日～10日 8月17日～19日 12月25日～27日 1月26日～27日 2月16日～17日 3月29日～30日	小学生（都市部、近隣）、 発達障害のこども、 大人など	530
田ガキになるう	稲作のうち、田植えや稲刈り、稲木立て、稲木干しなどを体験プログラムとして実施する。	5月20日 9月23日ほか	こども、親子	10
森もりキッズ	通年で野外体験を実施し、自然に目を向けるきっかけ作りをはじめ、生きる力を身につける。	5月～3月の日曜日 宿泊回もあり	丹後地域の小学生	10
アースディ丹後	丹後の食や体験を集めたイベントを通して、自然や地域に目を向けるきっかけづくりを行う。	5月4日、5日	こどもや親子はじめ広く市民	100
里山ラソン	公園の景観や散策道を生かしたマラソン大会。運動を通して自然を楽しむ、自然と健康を考えるきっかけづくりをする。	11月18日	小学生～	30
うみほし DAY	毎月第一日曜日を特別な日曜日として位置づけ、いつもとは一味違う体験や食を用意する。	4月～3月の第一日曜日（1、2月除く）	こどもや親子はじめ広く市民	10
どんぐりようちえん	年間を通して自然体験活動を実施し、子どもたちの挑戦する機会を設けるとともに親子の時間をつくる。	5月～3月の第一日曜日（1月除く）	未就学の幼児とその親	10
丹後学	丹後の自然や歴史、産業などについての訪問授業を行う。	随時	小学生～	15
インターン生、ボランティアの受け入れ、育成	作業手伝いではなく、参加者の学習機会となり、NPOとして将来につながる人材育成を意識し、受け入れる。	8月25日～31日 他、随時	高校生・大学生中心	150

(3) 地球環境と調和する社会をつくろうとする市民活動を支援しそのネットワークを広げていく活動

タイトル	内容	スケジュール	対象	予算(千円)
コネクト三	丹後・丹波・但馬地域のミュージア			50

TAN 地球育	ムで連携し、学習会や合同事業を行う。			
森の美術館	支援学校や福祉施設（事業所）などと協働で、アールブリュッド展を開催する。	9～10月ごろ	障害者をはじめ、広く市民	100
グリーンバレーズ構想	世屋から波見谷周辺をフィールドにした体験プログラム等を実施し、地域の宝の掘り起し、発信、継承につとめる。	通年	高校生～	0
地球デザインスクール会員間ネットワーク	会員向けのニュースレター作成やウェブ発信、メーリングリストなどを活用し、情報交換を活発にし、企画への参画、参加を促進する。	通年	NPO 会員	50

(4) 上記事業を促進するための施設・空間を、市民参加型で創り、管理し運営する事業

タイトル	内容	スケジュール	対象	予算(千円)
海と星の見える丘公園管理運営	丹後海と星の見える丘公園の指定管理者として、公園の管理運営業務にあたる。	通年	府民等	50,000
環境担い手づくり推進事業	府の委託を受け、海と星の見える丘公園を京都府北部の環境学習拠点として機能強化する。	通年	小学生等	2,000

(5) 持続可能な地域社会づくりに関する物品販売事業

タイトル	内容	スケジュール	対象	予算(千円)
Almon	地域で活用されず眠っているものに光をあてて、モノの循環をうみだす物販事業を行う。	通年	広く市民	20

(6) その他

タイトル	内容	スケジュール	対象	予算(千円)
MFA	救急医療の先進国アメリカで誕生した応急手当の訓練プログラムを、トレーニングセンターとして行う。	随時	高校生以上	20
ドキュメンテーション作成	全ての活動を対象に、活動の経過を含めた記録の蓄積と共有、発信を目的にドキュメンテーション作成にとりくむ。	通年	主にスタッフ、理事	

